



ギャラクシー・エンターテインメント・グループ 2019年第2四半期および上半期業績

2019年第2四半期のグループの調整後 EBITDA は 43 億香港ドル
前期比 9%増、前年同期比では横ばい

第3および第4フェーズの開発事業と日本の開発計画を通して成長を持続

引き続き 1株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を 2019年10月25日ごろに実施することを発表

【2019年8月13日、東京発】 - ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（略称：GEG、香港証券取引所証券コード：27）は、本日、2019年6月30日までの3か月および6か月の業績を発表いたしました。

2019年第2四半期および半期業績のハイライト

GEG：マスゲーミングは堅調もVIPセグメントは減収

- 上半期のグループの純売上高は 262 億香港ドル（前年同期比 7%減）
- 上半期のグループの調整後 EBITDA は 83 億香港ドル（前年同期比 4%減）
- 上半期の株主に帰属する純利益（「NPAS」）は 67 億香港ドル（前年同期比 7%減）
- 第2四半期のグループの純売上高は 132 億香港ドル（前年同期比 5%減、前四半期比 1%増）
- 第2四半期のグループの調整後 EBITDA は 43 億香港ドル（前年同期比で横ばい、前四半期比 9%増）
- プラス要因により第2四半期の調整後 EBITDA は約 3 億 4900 万香港ドル増加し、平準化調整後 EBITDA は 40 億香港ドル（前年同期比 11%減、前四半期比 3%増）
- 直近 12 か月間の調整後 EBITDA は 165 億香港ドル（前年同期比 1%増）

ギャラクシー・マカオ：マスゲーミングは堅調に推移し、施設増強計画は順調に進行中

- 上半期の純売上高は 188 億香港ドル（前年同期比 5%減）
- 上半期の調整後 EBITDA は 63 億香港ドル（前年同期比 3%減）
- 第2四半期の純売上高は 95 億香港ドル（前年同期比 4%減、前四半期比 3%増）
- 第2四半期の調整後 EBITDA は 32 億香港ドル（前年同期比では横ばい、前四半期比 7%増）
- プラス要因により第2四半期の調整後 EBITDA は約 2 億 5300 万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は 30 億香港ドル（前年同期比 11%減、前四半期比では横ばい）
- 第2四半期の5つのホテルの合わせた客室稼働率は事実上 100%

スターワールド・マカオ：マスゲーミングは堅調に推移し、施設増強計画は順調に進行中

- 上半期の純売上高は 57 億香港ドル（前年同期比 8%減）
- 上半期の調整後 EBITDA は 19 億香港ドル（前年同期比 5%減）
- 第2四半期の純売上高は 28 億香港ドル（前年同期比 10%減、前四半期比 8%減）
- 第2四半期の調整後 EBITDA は 9 億 4300 万香港ドル（前年同期比 4%減、前四半期比は 1%減）
- プラス要因により第2四半期の調整後 EBITDA は約 9200 万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は 8 億 5100 万香港ドル（前年同期比 14%減、前四半期比 3%減）
- 第2四半期のホテルの客室稼働率は事実上 100%

ブロードウェイ・マカオ：独自のファミリー向けリゾート、マカオの中小企業による強力な支援

- 上半期の純売上高は 2 億 9800 万香港ドル（2018年上期は 2 億 7,300 万香港ドル）
- 上半期の調整後 EBITDA は 2100 万香港ドル（2018年上期は 1,500 万香港ドル）
- 第2四半期の純売上高は 1 億 4700 万香港ドル（2018年第2四半期は 1 億 3,100 万香港ドル、2019年第1四半期は 1 億 5,100 万香港ドル）
- 第2四半期の調整後 EBITDA は 600 万香港ドル（2018年第2四半期は 200 万香港ドル、2019年第1四半期は 1,500 万香港ドル）
- プラス要因により第2四半期の調整後 EBITDA はおよそ 400 万香港ドル増加、平準化調整後 EBITDA は 200 万香港ドル（2018年第2四半期は 400 万香港ドル、2019年第1四半期は 1,100 万香港ドル）
- 第2四半期のホテルの客室稼働率は事実上 100%

バランスシート：健全で流動性のあるバランスシート

- 現金および流動性のある投資は 504 億香港ドル、ネットキャッシュは 2019 年 6 月 30 日時点で 439 億香港ドル
- 2019 年 6 月 30 日時点での負債は 65 億香港ドル（主に現在の財務収益管理プログラムに関連）
- 発表済みの 1 株あたり 0.45 香港ドルの特別配当を 2019 年 4 月 26 日に実施
- 引き続き 1 株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を 2019 年 10 月 25 日ごろに支払うことを発表

開発に関する最新情報：開発機会を引き続き探索中

- 短期的には若干の不便が生じましたが、当社は、すでに発表済みのギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオに対する 15 億香港ドルを投じた改修増強計画を継続
- コタイ地区ギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズの開発は、ノンゲーミング事業の MICE やエンターテインメント、家族向け施設を中心に、ゲーミングも含めて進行中
- 横琴島 - マカオの旗艦エンターテインメントリゾートであるギャラクシー・マカオを補完するために、ライフスタイルリゾートの計画を更新中
- 国際事業の展開 - 日本を含む海外市場で機会を引き続き探索

GEG 会長ルイ・チェ・ウー博士は次のように述べています。

「本日、グループの 2019 年第 2 四半期および上半期の業績をご報告できることを嬉しく思います。今年には中国とマカオにとって重要な年で、中華人民共和国建国 70 周年やマカオ返還 20 周年に加え、12 日後の 8 月 25 日には次のマカオの行政長官選挙という、3 つの大きなイベントが特に注目されています。

2019 年上半期のグループ全体での純売上高は、前年同期比 7%減の 262 億香港ドル、調整後 EBITDA は、前年同期比 4%減の 83 億香港ドルとなりました。2019 年第 2 四半期のグループ全体での調整後 EBITDA は、前四半期比 9%増の 43 億香港ドルとなりました。当社のバランスシートはトータルキャッシュが十分にあり引き続き健全で、流動性のある投資は、504 億香港ドル、ネットキャッシュは、439 億香港ドルとなっています。バランスシートと事業運営が生み出すキャッシュフローが、株主への配当還元や開発パイプラインへの資金投入、国際事業開発計画の推進を可能にしています。

今年 4 月 26 日には、1 株あたり 0.45 香港ドルの特別配当を実施しました。さらに、2019 年 10 月 25 日ごろに 1 株あたり 0.46 香港ドルの特別配当を実施できることをお知らせできてうれしく思います。これらの配当は、マカオおよび当社の長期的な展望に自信があることの証左です。

マカオ市場は、地域の競争激化や現在進行中の貿易摩擦、中国経済の減速に伴う VIP の減少にもかかわらず、全体として比較的安定しています。リソースを最大、最高の用途に再配分し、より利益率の高いマスゲーミングビジネスの成長に注力してまいります。

すでに発表しております 15 億香港ドルの施設増強計画は順調に進んでおります。私たちは、この計画がギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオの魅力と競争力の維持につながるものと考えております。短期的に見ると、一部のお客様にはご不便をおかけするかもしれませんが、中期的に見ると株主価値の創造につながるものと思われまます。

また、コタイ地区のギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズの開発を継続し、国際事業開発計画は案件ごとに見直しを進めてまいります。日本においては、引き続きコミュニティとの関係強化を図っており、最近の活動としては、EUROJAPAN CUP 2019 のスポンサーや、マカオ大学および東洋大学との協力による日本—マカオ統合型リゾート・マネジメント・メンターシッププログラムがあります。中長期的には中国本土の中流階級の生活レベル向上が観光や娯楽、旅行の需要増加をもたらすと考えており、マカオの展望には自信を持ってまいります。

港珠澳大橋が開通したことを嬉しく思っています。そして、広珠都市間鉄道の横琴島への延長によりコタイへのアクセスが改善することを心待ちにしています。マカオへのアクセスがより簡単になるインフラの

開通や、グレーターベイエリアの統合計画の実施により、マカオ、香港および9つの広東省南部にある都市で人や物、資本の流れが促進されると私たちは考えております。

国際貿易に関する話し合いが継続しており、短期的にはこれが消費者心理や消費行動に影響を与える可能性があることは当社でも十分に認識しております。当社は、『世界の観光やレジャーの中心地』になるというマカオ政府の構想への支援に引き続き注力していく所存です。

最後になりますが、『ワールドクラスのアジアのおもてなし』のサービスを日々提供し、グループの成功に貢献している、当社のスタッフ全員に感謝の意を表したいと思います。」

市場概況

DICJ（マカオ博彩監察協調局）のレポートによると、マカオの2019年上半期のグロスゲーミングレベニュー（以下、GGR）は、1,451億香港ドル（前年同期比0.5%減）となりました。2019年第2四半期のGGRは、712億香港ドル（前年同期比1%減、前四半期比4%減）でした。

2019年上半期、マカオへの訪問者数は前年同期比21%増の2,030万人でした。このうち宿泊客数は、前年同期比8%増、日帰り客数は、前年同期比34%増となりました。宿泊客の平均滞在日数は、2.2日と前年同期比で横ばいでした。中国本土からの訪問者数は、前年同期比22%増の1,430万人となり、港珠澳大橋と高速鉄道の開通がマカオへの訪問客数増加につながったことを示しています。

2019年上半期には、VIPルームへの喫煙ラウンジの導入、世界経済の減速、新たな投資による競争に加え、地域のカジノとの競争の激化など、市場（とりわけVIPセグメント）に影響をおよぼす複数のできごとがありました。長期的に見ると、マカオのVIPビジネスは、競争力を維持していけるでしょう。

2019年1月1日に始まった喫煙ラウンジの導入は、従業員やゲストに好評でした。GEGのリゾート全体での新しい喫煙ラウンジの設置により施設内でのプレイヤーの分布が変化しました。特定のエリアの混雑がこれまでに比べ改善し、そのほかのエリアの利用が増え、全体的な顧客体験が向上しました。

2019年4月より、中国本土の住民へのビザ発給が緩和され、全土の入国管理センターでマカオへの観光ビザ申請が可能となりました。また、同時に中国国務院は横琴国際レジャーツーリズム・アイランドの建設計画を承認しました。この計画は広東、マカオ、香港の協調を後押しし、マカオの経済的多様性を推進することで、グレーターベイエリアの開発を前進させる可能性があります。

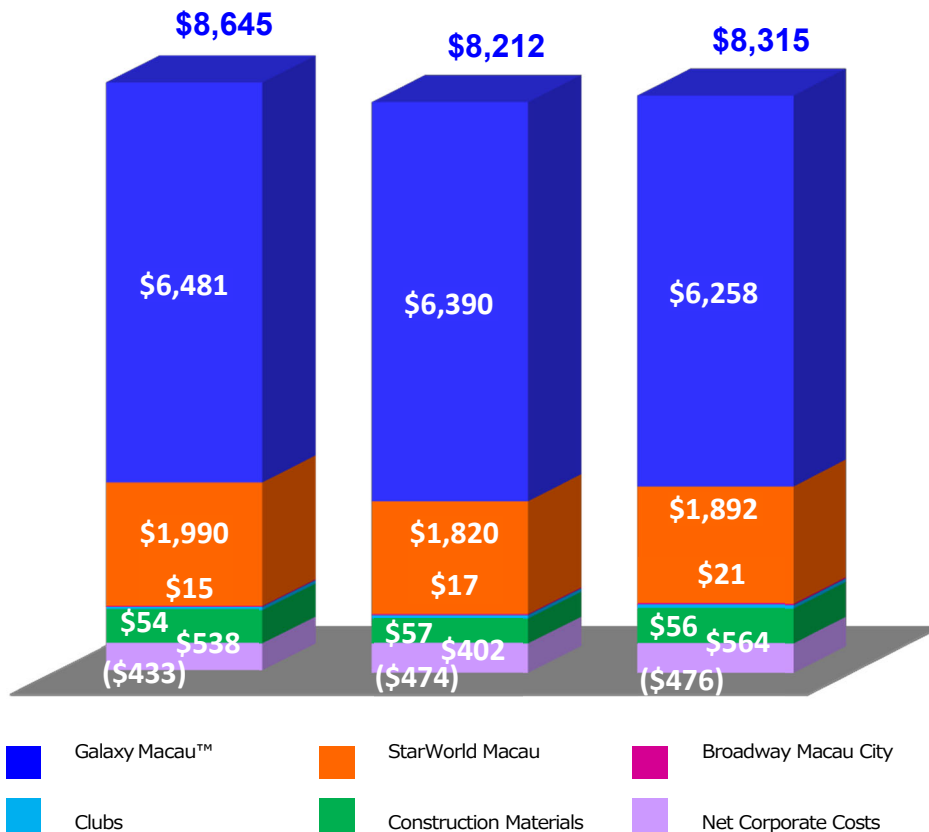
GEG 決算の状況

2019年上半期

グループの2019年上半期の業績は、純売上高で262億香港ドル（前年同期比7%減）、調整後EBITDAは、83億香港ドル（前年同期比4%減）となりました。株主に帰属する純利益は67億香港ドル（前年同期比7%減）でした。ギャラクシー・マカオの調整後EBITDAは、63億香港ドル（前年同期比3%減）となりました。スターワールド・マカオの調整後EBITDAは、19億香港ドル（前年同期比5%減）となりました。ブロードウェイ・マカオの調整後EBITDAは、2100万香港ドル（2018年上半期は1,500万香港ドル）となりました。

2019年上半期、GEGの調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約4億6000万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、79億香港ドル（前年同期比11%減）となりました。

GEG の 2019 年上半期調整後 EBITDA (単位 100 万香港ドル)



グループ全体のGGRは、2019年上半期の管理ベース¹で306億香港ドル（前年同期比11%減）でした。マステープルのGGRは、146億香港ドル（前年同期比8%増）VIPのGGRは、148億香港ドル（前年同期比25%減）でした。電子ゲームのGGRは、12億香港ドル（前年同期比3%増）でした。

¹法定総収益と管理ベース基本総収益の主な違いは、シティ・クラブの収益の取扱いであり、手数料収入は法定ベースで報告され、ゲームの総収益は管理ベースで報告されます。グループのレベルでは、ゲーミングの実績には、企業所有のリゾートとシティ・クラブが含まれています。

グループの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)	2018年上半期	2019年上半期
売上高:		
ネットゲーミング	23,818	22,234
ノンゲーミング	2,572	2,653
建設資材	1,668	1,332
全純売上高	28,058	26,219
調整後 EBITDA	8,645	8,315

ゲーミングの実績 ²		
(単位：100万香港ドル)	2018年上半期	2019年上半期
ローリングチップ売上高 ³	578,111	383,234
ウィンレート%	3.4%	3.8%
勝ち金	19,612	14,754
マステーブルドロップ ⁴	58,163	60,854
ウィンレート%	23.3%	24.0%
勝ち金	13,551	14,611
電子ゲーミング売り上げ	36,068	32,825
ウィンレート%	3.3%	3.7%
勝ち金	1,174	1,213
全 GGR 勝ち金 ⁵	34,337	30,578

2019年第2四半期

グループの純売上高は、132億香港ドル（前年同期比で5%減、前四半期比1%増）、調整後EBITDAは、43億香港ドル（前年同期比で横ばい、前四半期比9%増）となりました。ギャラクシー・マカオの調整後EBITDAは、32億香港ドル（前年同期比で横ばい、前四半期比7%増）となりました。スターワールド・マカオの調整後EBITDAは9億4300万香港ドル（前年同期比で4%減、前四半期比1%減）となりました。ブロードウェイ・マカオの調整後EBITDAは600万香港ドル（2018年第2四半期は200万香港ドル、2019年第1四半期は1,500万香港ドル）となりました。

直近12か月の調整後EBITDAは、165億香港ドル（前年同期比1%増、前四半期比では横ばい）となりました。

2019年第2四半期、GEGの調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約3億4900万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、40香港ドル（前年同期比11%減、前四半期比3%増）となりました。

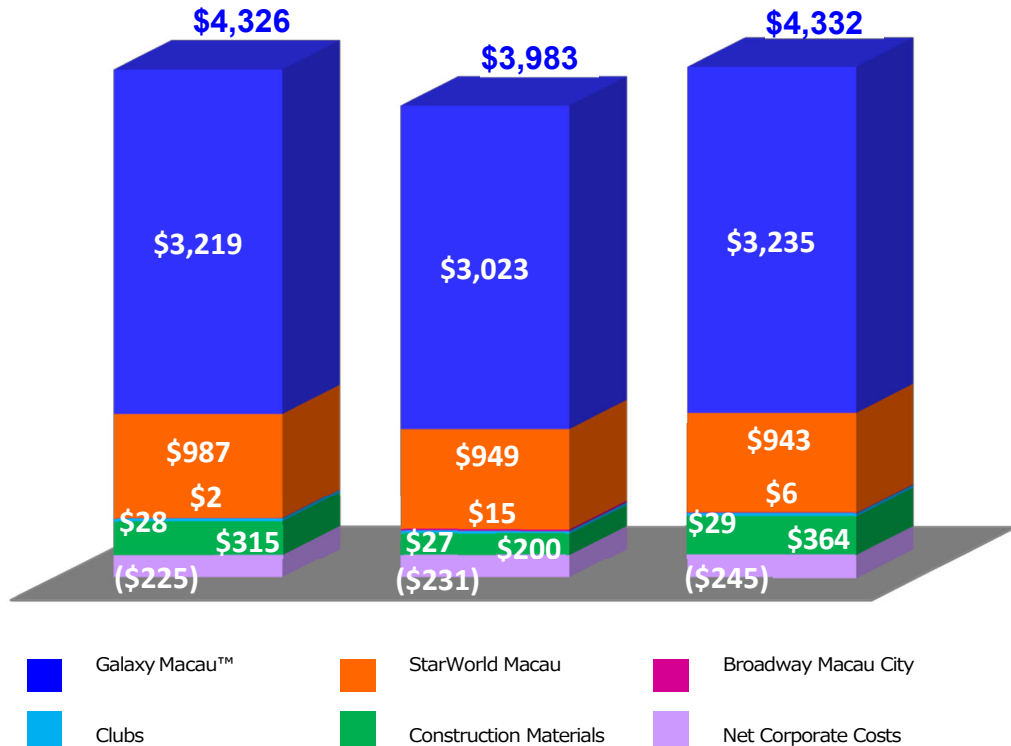
²ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

³ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁴マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

⁵シティ・クラブのゲーミング売上を含みます。

GEG の 2019 年第 2 四半期調整後 EBITDA (単位 100 万香港ドル)



グループ全体でのGGRは、2019年第2四半期の管理会計ベース⁶で152億香港ドル（前年同期比11%減、前四半期比1%減）でした。マステーブルのGGRは、73億香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比1%減）でした。VIPのGGRは、73億香港ドル（前年同期比25%減、前四半期比1%減）でした。電子ゲーミングのGGRは、6億700万香港ドル（前年同期比6%増、前期比横ばい）でした。

⁶法定総収益と管理ベース基本総収益の主な違いは、シティ・クラブの収益の取扱いであり、手数料収入は法定ベースで報告され、ゲームの総収益は管理ベースで報告されます。グループのレベルでは、ゲーミングの実績には、企業所有のリゾートとシティ・クラブが含まれます。

グループの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
売上高:					
ネットゲーミング	11,898	11,091	11,143	23,818	22,234
ノンゲーミング	1,270	1,338	1,315	2,572	2,653
建設資材	757	616	716	1,668	1,332
全純売上高	13,925	13,045	13,174	28,058	26,219
調整後 EBITDA	4,326	3,983	4,332	8,645	8,315

ゲーミングの実績⁷

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
ローリングチップ売上高 ⁸	289,319	203,568	179,666	578,111	383,234
ウィンレート%	3.4%	3.6%	4.1%	3.4%	3.8%
勝ち金	9,744	7,429	7,325	19,612	14,754
マステーブルドロップ ⁹	29,653	30,463	30,391	58,163	60,854
ウィンレート%	23.0%	24.1%	23.9%	23.3%	24.0%
勝ち金	6,836	7,345	7,266	13,551	14,611
電子ゲーミング売上	18,239	16,178	16,647	36,068	32,825
ウィンレート%	3.1%	3.7%	3.6%	3.3%	3.7%
勝ち金	572	606	607	1,174	1,213
全 GGR 勝ち金 ¹⁰	17,152	15,380	15,198	34,337	30,578

バランスシートと特別配当

グループのバランスシートは、十分な流動性があり健全な状態です。堅調なバランスシートと事業運営が生み出す潤沢なキャッシュフローが、配当による株主への還元や事業基盤となる開発パイプラインへの資金供給、国際的な事業展開計画の推進を可能にしています。

2019年6月30日の時点で、現金および流動性のある投資が504億香港ドル、ネットキャッシュは439億香港ドルです。負債総額は65億香港ドルとなりました。これは主に全て継続的な資金管理によるもので、現金資産への利息収入は借入コストを上回っています。

2019年4月26日には、GEGは1株あたり0.45香港ドルの特別配当を実施しました。引き続き1株あたり0.46香港ドルの特別配当を2019年10月25日ごろに支払うことを発表。

⁷ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

⁸ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

⁹マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

¹⁰シティ・クラブのゲーミング売上を含みます。

ギャラクシー・マカオ

ギャラクシー・マカオはグループの売上高、収益面で中心的な役割を担っています。2019年上半期の純売上高は、188億香港ドル（前年同期比5%減）となりました。調整後EBITDAは、63億香港ドル（前年同期比3%減）でした。調整後EBITDAマージンは、香港財務報告基準で33%（2018年上半期は33%）となりました。

2019年上半期の調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約2億9200万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、60億香港ドル（前年同期比12%減）となりました。

2019年第2四半期の調整後EBITDAは、32億香港ドル（前年同期比で横ばい、前四半期比7%増）でした。調整後EBITDAマージンは、香港財務報告基準で34%（2018年第2四半期は32%）となりました。

2019年第2四半期の調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約2億5300万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、30億香港ドル（前年同期比11%減、前四半期比で横ばい）となりました。

2019年上半期および第2四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は事実上100%を記録しました。

ギャラクシー・マカオの主な財務データ（単位：100万香港ドル）

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
売上高:					
ネットゲーミング	8,869	8,130	8,405	17,601	16,535
ホテル/飲食/その他	820	829	832	1,639	1,661
ショッピングモール	260	305	289	553	594
全純売上高	9,949	9,264	9,526	19,793	18,790
調整後EBITDA	3,219	3,023	3,235	6,481	6,258
調整後EBITDAマージン	32%	33%	34%	33%	33%

ゲーミングの実績¹¹

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
ローリングチップ売上高 ¹²	208,506	135,344	125,051	413,444	260,395
ウィンレート%	3.5%	3.9%	4.4%	3.5%	4.1%
勝ち金	7,304	5,253	5,501	14,457	10,754
マステーブルドロップ ¹³	17,289	17,906	18,118	34,043	36,024
ウィンレート%	26.7%	28.3%	27.6%	26.8%	27.9%
勝ち金	4,610	5,068	4,993	9,134	10,061
電子ゲーミング売り上げ	13,311	11,106	11,235	26,901	22,341
ウィンレート%	3.6%	4.5%	4.6%	3.7%	4.5%
勝ち金	473	502	512	982	1,014
全GGR勝ち金	12,387	10,823	11,006	24,573	21,829

¹¹ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹²ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹³マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

スターワールド・マカオ

スターワールド・マカオの2019年上半期の純売上高は、57億香港ドル（前年同期比8%減）となりました。調整後EBITDAは、19億香港ドル（前年同期比5%減）でした。調整後EBITDAマージンは、香港財務報告基準で33%（2018年上半期は32%）でした。

2019年上半期の調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約1億6000万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、17億香港ドル（前年同期比10%減）となりました。

2019年第2四半期の調整後EBITDAは、9億4300万香港ドル（前年同期比4%減、前期比は1%減）、調整後EBITDAマージンは香港財務報告基準で34%（2018年第2四半期は32%）となりました。

2019年第2四半期の調整後EBITDAは、ゲーミング事業でのプラス要因により約9200万香港ドル増加しました。平準化調整後EBITDAは、8億5100万香港ドル（前年同期比14%減、前四半期比3%減）となりました。

2019年上半期および第2四半期のホテル客室稼働率はともに事実上100%でした。

スターワールド・マカオの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
売上高:					
ネットゲーミング	2,938	2,858	2,633	6,026	5,491
ホテル/飲食/その他	109	115	110	218	225
ショッピングモール	13	14	13	26	27
全純売上高	3,060	2,987	2,756	6,270	5,743
調整後EBITDA	987	949	943	1,990	1,892
調整後EBITDAマージン	32%	32%	34%	32%	33%

ゲーミングの実績¹⁴

(単位：100万香港ドル)	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
ローリングチップ売上高 ¹⁵	79,703	67,580	53,905	161,996	121,485
ウィンレート%	3.0%	3.2%	3.3%	3.1%	3.3%
勝ち金	2,407	2,165	1,789	5,077	3,954
マステーブルドロップ ¹⁶	9,146	9,265	8,877	17,692	18,142
ウィンレート%	18.6%	18.9%	19.5%	19.3%	19.2%
勝ち金	1,704	1,749	1,730	3,413	3,479
電子ゲーミング売上	1,920	2,018	1,967	3,630	3,985
ウィンレート%	2.4%	2.3%	2.0%	2.5%	2.2%
勝ち金	46	46	40	89	86
全GGR勝ち金	4,157	3,960	3,559	8,579	7,519

¹⁴ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁵ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

¹⁶マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

ブロードウェイ・マカオ

ブロードウェイ・マカオは、マカオの地元中小企業のサポートを受けて運営し、ストリートエンターテインメントと食事を楽しめる、他にはないユニークなファミリー向けリゾート施設であるため、VIP ゲーミングは備えていません。2019年上半期の純売上高は、2億9800万香港ドル（2018年上半期は2億7300万香港ドル）となりました。調整後 EBITDA は、2100万香港ドル（2018年上半期は1,500万香港ドル）です。

2019年上半期の調整後 EBITDA は、ゲーミング事業でのプラス要因により約 X 百万香港ドル増加しました。平準化調整後 EBITDA は、1300万香港ドル（2018年上半期は1,400万香港ドル）となりました。

2019年第2四半期の調整後 EBITDA は、600万香港ドル（2018年第2四半期は200万香港ドル、2019年第1四半期は1,500万香港ドル）となりました。

2019年第2四半期の調整後 EBITDA は、ゲーミング事業でのプラス要因により約400万香港ドル増加しました。平準化調整後 EBITDA は、200万香港ドル（2018年第2四半期は400万香港ドル、2019年第1四半期は1,100万香港ドル）となりました。

2019年上半期および第2四半期ホテル客室稼働率はともに事実上100%でした。

ブロードウェイ・マカオの主な財務データ

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
売上高:					
ネットゲーミング	63	76	76	138	152
ホテル/飲食/その他	58	64	59	114	123
ショッピングモール	10	11	12	21	23
全純売上高	131	151	147	273	298
調整後 EBITDA	2	15	6	15	21
調整後 EBITDA マージン	2%	10%	4%	5%	7%

ゲーミングの実績¹⁷

(単位：100万香港ドル)

	2018年 第2四半期	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2018年 上半期	2019年 上半期
マステーブルドロップ ¹⁸	322	342	343	690	685
ウィンレート%	18.1%	20.3%	21.3%	19.1%	20.9%
勝ち金	59	70	73	132	143
電子ゲーミング売り上げ	516	554	444	925	998
ウィンレート%	2.4%	2.7%	2.4%	2.4%	2.6%
勝ち金	12	15	11	22	26
全 GGR 勝ち金	71	85	84	154	169

¹⁷ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

¹⁸マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

シティ・クラブ

2019年上半期の調整後 EBITDA は、5600 万香港ドル（前年同期比 4%増）と、グループの業績に貢献しました。2019年第 2 四半期の調整後 EBITDA は、2900 万香港ドル（前年同期比 4%増、前期比 7%増）でした。

シティ・クラブの主な財務データ

(単位：100 万香港ドル)

	2018 年 第 2 四半期	2019 年 第 1 四半期	2019 年 第 2 四半期	2018 年 上半期	2019 年 上半期
調整後 EBITDA	28	27	29	54	56

ゲーミングの実績¹⁹

(単位：100 万香港ドル)

	2018 年 第 2 四半期	2019 年 第 1 四半期	2019 年 第 2 四半期	2018 年 上半期	2019 年 上半期
ローリングチップ売上高 ²⁰	1,109	644	710	2,671	1,354
ウィンレート%	3.0%	1.6%	5.0%	2.9%	3.4%
勝ち金	33	11	35	78	46
マステーブルドロップ ²¹	2,896	2,950	3,053	5,737	6,003
ウィンレート%	16.0%	15.5%	15.4%	15.2%	15.5%
勝ち金	463	458	470	872	928
電子ゲーミング売上	2,493	2,500	3,001	4,612	5,501
ウィンレート%	1.7%	1.7%	1.5%	1.8%	1.6%
勝ち金	41	43	44	81	87
全 GGR 勝ち金	537	512	549	1,031	1,061

建設資材部門

建設資材部門の2019年上半期の調整後 EBITDA は、5億6400万香港ドル（前年同期比5%増）となりました。2019年第2四半期の調整後 EBITDA は、3億6400万香港ドル（前年同期比16%増、前四半期比82%増）となりました。

開発に関する最新情報

ギャラクシー・マカオおよびスターワールド・マカオ

当社のリゾートの競争力を維持するため、15 億香港ドルを投じてギャラクシー・マカオとスターワールド・マカオの施設増強計画を進めています。この計画は当社のリゾートの魅力を高めるだけでなく、今後、ギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズを効果的に統合および連結するための準備作業も含んでいます。

¹⁹ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

²⁰ジャンケットのローリングチップ売上高のみを反映しています。

²¹マステーブルドロップはテーブルドロップに加えてケージで購入したキャッシュチップの額を含みます。

ギャラクシー・マカオ「次の開発段階」へ

GEG は長期的成長の実現に向けて独自のポジションを確立しています。当社は、家族向けや最高級の客室を含む4,500室のホテル、3万7,000平方メートルのMICEスペース、16,000人を収容できる4万6,000平方メートルの多目的アリーナ、飲食店、小売店、カジノなどを中心とする、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズ開発事業を継続して進めています。将来の開発計画は改めて発表します。

横琴島

ギャラクシー・マカオを補完する、横琴島のライフスタイルリゾートの構想計画を引き続き進めています。

国際事業展開

日本を拠点とするチームは日本での開発活動を継続中です。日本は、長期的に見て大きな成長機会があり、当社のマカオおよびその他の国際的な事業計画を補完することになるでしょう。GEG は、モナコ公国のモンテカルロ SBM および日本のパートナーと共に日本で IR を展開することを楽しみにしています。

2019 年上半期の主な受賞

賞	主催者
GEG	
Casino Operator of the Year Australia & Asia	12 th International Gaming Awards
3 Years IR Awards Winning Company Certificate of Excellence	Hong Kong Investor Relations Association
Galaxy Macau™	
Integrated Resort of the Year	12 th International Gaming Awards
Best Integrated Resort Award Best Gaming Floor Award	G2E Asia Awards 2019
Asia's Most Popular Parent-Child Travel Resort City Supreme Award	The 19 th Golden Horse Awards of China
2018 Macau Green Hotel Awards - Gold Award for Hotel Okura Macau	Environmental Protection Bureau and Macau Government Tourism Office
StarWorld Macau	
Asia's Best Catering Service Hotel Supreme Award	The 19 th Golden Horse Awards of China
TOP 10 City-Nova Hotels of China	The 14 th China Hotel Starlight Awards
Broadway Macau™	
Environmental Performance Silver Award	Macau Environmental Bureau
Construction Materials Division	
Hong Kong Awards for Environmental Excellence	Hong Kong Environmental Campaign Committee
The 14 th Occupational Health Award - Joyful @ Healthy Workplace Best Practices Award - Excellence Award	Hong Kong Occupational Safety and Health Council
2018/19 Airport Safety Recognition Scheme - Extraordinary Contribution and Efforts on Airport Safety	Airport Authority Hong Kong
Caring Company Scheme – 15 Years Plus Caring Company Logo	The Hong Kong Council of Social Service

展望

マカオの中長期的な展望には自信を持っております。これは、中国旅行市場の発展の可能性、マカオへのアクセスやマカオ内での移動を容易にする現在建設中のインフラ、中国経済の持続的な成長など多くの要因によるものです。長期的に見れば、中国 GDP の成長がマカオレジャーや観光、旅行需要の成長につながるでしょう。

短期的には、当社は、現在の国際的な貿易摩擦がお客様の心理や消費行動に影響を与える可能性があることを十分に認識しております。中国市場を積極的に狙っている地域の統合型リゾートとの競争も激しくなっています。

GEG は、マカオの将来的な成長へ投資できる立場にあります。堅調で健全なバランスシートにより、配当の実施や、開発パイプラインに資金を提供し、国際的な事業展開計画を継続します。

短期的にも、市場のニーズに応えた最良の施設の提供を続けています。また、ギャラクシー・マカオには、575 メートルのスカイトップ・アドベンチャー・ラピッド、5,000 平方メートルのスカイトップ・ウェーブ・プールなどからなる 7 万 5,000 平方メートルの他にはないグランド・リゾート・デッキがあり、夏季の繁忙期に向けて集客できる理想的な立場にあります。

中長期的には、第 3 および第 4 フェーズや横琴島の開発機会に恵まれています。横琴島において当社が提案するライフスタイルリゾートの開発により、大勢のゲストで賑わうマカオの施設を補完することになるでしょう。

また、日本の統合型リゾートの開発も積極的に推進してまいります。当社のマネジメントチームや資本リソース、開発プロジェクトで、長期的な株主価値を生み出すこと確信しています。

ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（香港証券取引所証券コード：27）について

ギャラクシー・エンターテインメント・グループは、世界有数のリゾート、ホスピタリティおよびゲーミング企業です。当グループは、マカオで統合型リゾート、リテール、飲食、ホテル、ゲーミング施設などの開発・運営を幅広く行っています。香港証券取引所に上場しており、ハンセン指数の構成銘柄であり、日経アジア300指数にも選出されています。

GEGは、マカオで最初にゲーミングライセンスを取得した3社のうちの1つであり、革新的で壮大かつ、数々の賞を受賞した施設、プロダクト、サービスを提供しています。「ワールドクラス、アジアのおもてなし」をサービス哲学の基本としており、マカオ市場でのリーダー的存在です。

GEGは、マカオで3つの旗艦リゾートを展開しています。コタイ地区にあるギャラクシー・マカオは世界最大級の統合型リゾートで、隣接するブロードウェイ・マカオは、ユニークなランドマークであり、エンターテインメントとフードストリートをテーマとしています。マカオ半島にあるスターワールド・マカオは数々の賞を受賞したプレミアムプロパティといえます。

GEGは、マカオにおけるゲーミングライセンスを保有する会社の中では、最大の未開発用地を所有しています。コタイ地区のギャラクシー・マカオは次の開発段階が完成することで、リゾート、エンターテインメント、MICE施設を備え、総面積は200万平方メートル以上へと倍増し、世界最大級で様々な施設を提供する統合型リゾートとなります。マカオに隣接する横琴島の270万平方メートルの土地にも、世界的レベルのライフスタイルレジャーリゾートの開発を計画しています。同リゾートは、マカオでのGEGのプロジェクトを補完すると同時に、GEGと他との差別化をはかり、観光とレジャーの国際的な中心地にするというビジョンの下でマカオを支援するものとなります。

GEGは、2015年7月には、モナコ公国において象徴的な高級ホテルやリゾートを所有・運営する、世界的に有名なSociété Anonyme des Bains de Mer et du Cercle des Etrangers à Monaco（モンテカルロSBM）と提携し戦略的な投資を行っています。さらに、日本を含む国際プロジェクトの開発機会を引き続き探求しています。

GEGは、お客様に世界レベルかつユニークな体験を提供し、事業を行なっている地域社会への持続可能な未来を築くことに全力を尽くしております。

グループに関する詳しい情報については、<https://www.galaxyentertainment.co.jp> をご覧ください。

報道関係者 問い合わせ先

ギャラクシー・エンターテインメント・グループ
担当：高木あゆみ
Tel: 03-3588-8080
E-mail: ayumi.takagi@galaxyentertainment.co.jp

ゴリン・ジャパン
担当：大坂・石井
Tel: 080-2015-0073/080-4832-0800
E-mail: Aosaka@golin.com/sishii@golin.com